

令和2(2020)年度

高等学校における教科指導充実に関する調査研究
～資質・能力の育成を図る授業改善の推進～

と い は い と

問いは意図

～教師の意図ある働きかけで生徒の学びを深める～

何をねらって
その「問い」を発しますか？

地理歴史科・公民科



栃木県総合教育センター
令和3(2021)年3月 発行

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070
TEL 028-665-7204 (研究調査部)
<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>



地理歴史科 公民科

本事例で育成を目指す資質・能力

多面的・多角的に考察する力

事例概要

「位置」に着目して諸事象を関連付けて、カルタゴの繁栄の要因を考えさせたり、交易で繁栄した他の国とカルタゴとの特徴を比較させたりします。

知識を求めるだけの問いを…

前5世紀ごろから、地中海交易で繁栄したカルタゴの位置はどこですか？

[生徒のつぶやき]

- ・都市の位置は覚えても、すぐ忘れてしまうのだよなあ。
- ・「歴史」の授業で、なぜ都市の位置を覚えるの？

「位置」に着目させる問いに！

カルタゴの位置は、なぜ海洋交易に適していたのだろう？

[生徒の気づき]

- ・カルタゴは、地中海のほぼ中央に位置しているね。
- ・地中海で交易を行うという視点で見ると、立地の重要性がよく分かるね。
- ・これからは、都市や国家がなぜ繁栄したのか、位置に着目してみよう。

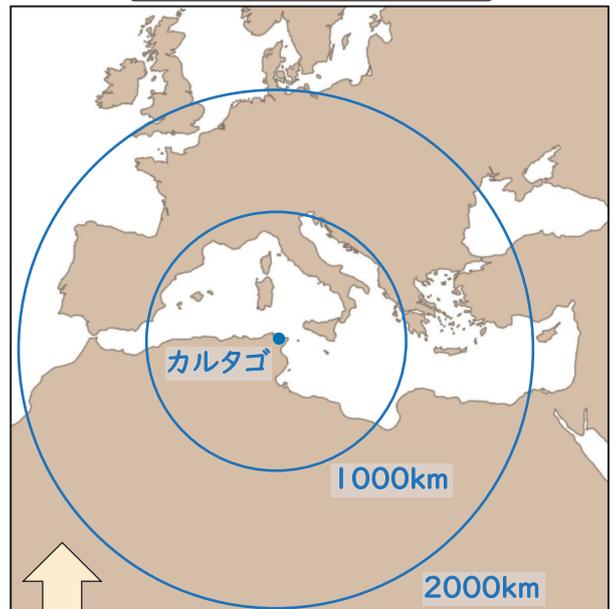
獲得した見方を、別の単元で活用する

琉球王国が海洋交易で繁栄した要因は何だろう？

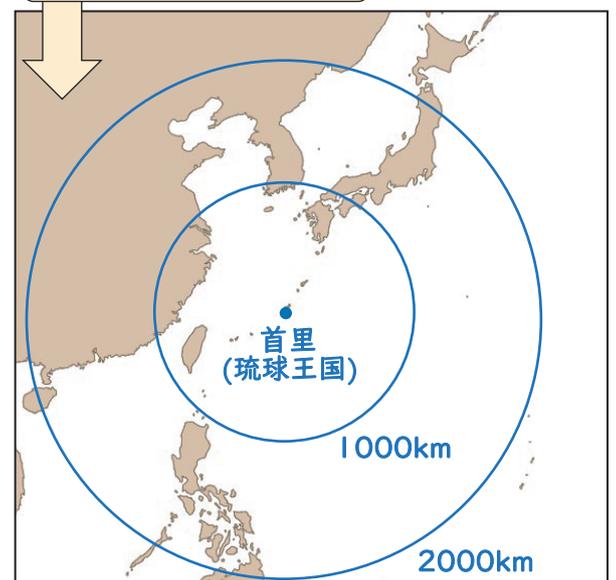
[生徒の思考、新たな問い]

- ・カルタゴと同様に海洋交易で繁栄したのだから、位置を踏まえて考えよう。
- ・琉球王国の都の首里は、日本、中国大陸、朝鮮半島、フィリピンから、ほぼ同じ距離に位置しているね。
- ・琉球王国の交易圏を調べたら、この地図には収まらないほど広い範囲に及んでいたことが分かった。
- ・中国沿岸も海洋交易に適した位置なのに、琉球王国が海洋交易をほぼ独占していた。なぜなのだろう？

問いと共に提示する地図



二つの地図を比較する



事例概要

政治に関わる視点に着目して、多様な意見を反映させながら意見を一つに決定する多数決の工夫に気付くことで、公正とは何かについて考えさせます。

知識を求めるだけの問いを…

議会制民主主義において、話合いで意見が一つにまとまらない場合は、何という原理に基づいて決定しますか？

[生徒のつぶやき]

- ・生徒会の選挙やホームルームの話合いで使ってきたよね。最も多くの支持を得た人や考えに決定する方法のことだよ。
- ・少数意見も無視しないようにすることが大切だと、中学校で学んできたよ。

“当たり前”を揺さぶる展開に

多数決で決定する際の方法をいろいろ調べてみよう。

[生徒の気付き]

- ・えっ。方法は一つだけだと思ってた。
- ・どの方法を用いるかによって、結果が違う場合もあるぞ。
- ・みんなの意見がなるべく公正に反映されるように、いろいろな方法が工夫されているのだね。

日本のプロ野球のシーズン最優秀選手は、各投票者が1位、2位、3位の選手を選び、それらの順位を点数化した合計値により決定しているね。

お笑いコンクールでは、審査員が3票を、その面白さに応じて、4名に振り分けて投票するよ。

しかも、その3票を全て同じ人に入れてもよい…。

アメリカ大統領選挙は、1票でも得票数が多いとその州の大統領選挙人を全て獲得するよ。

国民の総得票数ではなく、大統領選挙人の獲得数による多数決なのだね。

自分の考えを表現できる問いへ

あなたなら、次の文中の [] にどんな語を入れますか？

少数者の権利や意見の尊重も必要であることから、[] の割合を定め、議会の議席を優先して割り当てる制度を導入している国があります。

[生徒の議論]

答えは女性でしょ！ヨーロッパでは一般的なしくみだし。

他国の実際の事例もいいのだけれど、先生は「あなたならどう考えますか」と言っていたよ。

20歳代の若者はどう？

それ、いいね。どんな政策なのか、若者は関心をもって、じっくり聞くよね。

少数者の視点にたつと、過疎地域選出の議員はどうか。

過疎地域では店が減って、車を運転しない住民は、買い物に困っているよ。他にも問題は山積みだから、対策が進むまで、過疎地域選出の議員の割合を増やすことも、一つの考え方だね。

そもそも、すべての立場の少数者に、議席の割り当てをすることは不可能じゃないの。

そうだよ。だから物事を決める前に、十分に話し合っ、て、少数者の意見を理解することが必要なんだね！

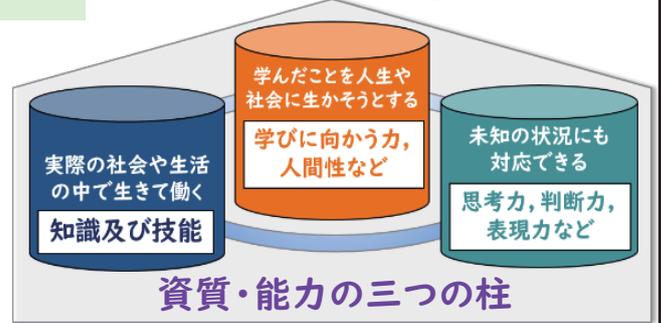
本事例での問いの意図

知識を活用して、ものごとの意味や意義、相互の関連を考えたり、課題を把握して、よりよい社会の構築に向けて自覚を深めたりすることを意図しています。追究する問いをきっかけに、知識と知識をつなぎ合わせ、社会的事象を多面的・多角的に考える力を鍛えていきます。

これからの時代に求められるのは？

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善により、変化の激しい社会の中で、生きて働く資質・能力を育成すること。

「生きる力」



なぜ「問い」に着目するのか？

学習指導における教師の大切な役割は、生徒の興味・関心を引き出し、思考を促すこと。

主体的・対話的で深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、「深い学び」を実現させるために

その鍵となるものが

「問い」



様々な切り口の「問い」を組み合わせ、問いかける順序やタイミングも考えて、一連の「問い」を構成する。

意図ある問いが学びを深める

生徒

- ・学ぶことに興味を向け、新しい知識や技能を得る。
- ・学んだことを基に思考し、自分の考えの質を高める。
- ・気づきや発見から、探究心が育ち、新たな学びに向かう。

教師

- ・単元や題材を広い視点で捉えた授業の工夫につながる。
- ・生徒が主体となる授業を展開できる。
- ・単元や題材の本質に迫る授業を実現できる。

各教科等において目指す資質・能力を高める

高等学校に求められていること

生徒一人一人に社会で求められる資質・能力を育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出すこと。